

令和5年度 富山市男女共同参画推進審議会 議事録

日 時 令和5年8月29日（火）13:00～14:07

場 所 富山市役所8階東館 802会議室

出席者	会長	大工原 ちなみ	元富山大学人文学部 教授
	副会長	村 上 美也子	むらかみ小児科アレルギークリニック 院長
		中 村 真由美	富山大学経済学部 教授
		押 川 実 恵	富山商工会議所女性会 会長
		國 香 真紀子	富山市小学校長会 会長
		齊 藤 亮	富山市男女共同参画推進地域リーダー連絡協議会 会長
		谷 昌 弘	富山市自治振興連絡協議会副会長
		藤 井 光 行	連合富山・富山地域協議会 事務局長
		水 家 正 一	富山人権擁護委員協議会 事務局長
		中 井 直 美	富山県女性相談センター 所長
		山 際 博	富山地方法務局人権擁護課 課長
		吉 田 宗 夫	富山労働局雇用環境・均等室 室長
		岩 城 祐 子	公募委員
		成 田 雅 美	公募委員

(欠席者) 東 博 幸 弁護士

事務局 市民生活部 大沢部長、浦田次長
市民協働相談課 平井課長、石坂主幹、大野副主幹
男女共同参画推進センター 鳥取所長

関係課 福祉政策課 浅野主幹、こども支援課 温井課長、
商工労政課 柵課長

内 容 :

1. 開会（司会進行：大野副主幹）
2. 部長あいさつ（大沢市民生活部長）
3. 委員等紹介
4. 会長あいさつ（大工原会長）

5. 議事

(1) 「富山市男女共同参画白書（令和5年版）」について

資料に基づき、内容説明（石坂主幹）

■質問・意見

会長	26 ページの母子健康手帳の名称だが、確か父親に対しても発行されていると記憶しているが、その反映が十分ではないのではないかと。
関係課	富山市は、まだ母子健康手帳であり名称変更はしていない。
会長	全国的にみても、近隣でみても、母子健康手帳の名称変更が進んでいると思う。今後、検討をお願いしたい。
委員	白書の 22 ページの事業番号 4 「男女平等意識を育む啓発冊子の発行」について、小学生向けの啓発冊子を配布し、アンケートがあったとのことだが、小学生は啓発冊子を見て、どういった反応だったのか。
事務局	アンケートは、児童ではなく、先生方に対し実施したものであり、（今年度の改訂にあたり）改善点や良かった点を参考とするものである。
委員	この冊子は手に取りやすく、ページ数も多くなく、カラーであり、児童に親しみやすい内容である。今は多様性ということもあり、学校では、これは男の子の物、女の子の物といった「男女」という感じはなくなっている。例えば4年生の「男だから」「女だから」では、「男だから野球の選手」ではなく、「女の子もどンドン野球チームをやっていく」というテーマになっており、小さい頃からの意識啓発が可能になっている。何よりもこの冊子を活用することで、教員が固定観念を持っていたことに気づききっかけになっている。教員自身も教えつつ学んでいける非常に良い冊子と考えている。
会長	前回の改訂前の冊子と現在の冊子の両方を見たことがあるが、非常に良く出来ていると思う。他の自治体に持っていき、こういう物を作ったらどうかと、説明したこともある。機会があれば、皆さんもご覧いただければと思う。
委員	2 ページの富山県の未婚率の推移について、各年齢層の未婚率は上がってきているとのことだが、全国と比べてどうなのか。全国の男性の 30 代後半、30 代前半についてはどうか。全国との比較や色々な年齢層があると良い。 29 ページの事業番号 230 から 234 の産前産後の色々な手当てについては、拡充されており、とても良いと思う。 44 ページの事業番号 141 「若年者就職支援事業の実施」も拡充されており、今、富山の人口が減っているので、こういう U ターンや I ターンに力を入れることはとても良いと思う。

	40 ページの事業番号 113「預かり保育事業の実施」について、令和 5 年度の予算が下がっているのはなぜか。
事務局	担当課に確認したところ、令和 4 年度は公立幼稚園が 5 園あったが、閉園のため、令和 5 年度は 3 園に減っている。令和 4 年度も 5 年度も全ての園で預かり保育事業を実施しているが、園の数が減ったため、予算が下がった。
委員	<p>世界規模でいうとジェンダーギャップ指数がある。ジェンダーギャップ指数には、「教育」「健康」「経済」「政治」の 4 つの指標があり、男女でどのように違うかということを経験化して、世界各国と比べたものであるが、日本は少し遅れている。男性も女性も性別に関係なく活躍するための男女共同参画の計画であると思うが、この 4 つの指標を意識して見ると、この白書のデータは少し違うのではないかと思う。1 ページの婚姻率と離婚率の推移は、ジェンダーギャップ指数には入っていない。経済において、どれだけ管理職として女性が参画しているか、政治において女性議員数がどうかということで、男女の平等が図られていると思う。そのような指標が、このデータにはないのではないかと気になっている。</p> <p>富山県のサンフォルテで、富山県の経済や政治についての状況をデータでまとめられている。白書の作り方に、どういう意図があるのか教えてほしい。</p>
会長	基本的に国の様々な指標があり、白書の作りは、概ね他の市町村も似た形になっている。
事務局	基本的に国の白書に沿った形としており、富山市の白書なので、市のデータをあげており、ない場合は県のものとしている。市の附属機関への女性委員登用率や女性職員の登用状況といったデータ、また参考資料として、富山市・県議会における女性議員数についても掲載している。
委員	経済や政治は、男女共同参画に向けて難しい部分があるかと思う。特に政治は難しいと思うが、女性議員数を増やすといった取り組みについて何かあるか。
会長	国では、国会議員はクォーター制の導入の話があった。
委員	議論はされている。
会長	なかなか上手くいっていない。
事務局	我々にとって、一番身近な存在の富山市議会議員は、全ての党派に女性議員がいるのではないが、各派に女性議員がいる。市議会では初の女性の副議長が誕生し、同時に県議会でも女性の副議長が誕生した。先日出席した会議でも、来賓の祝辞の中に、「男女共同参画社会の「元年」ではないか」とあった。委員のおっしゃるとおり、政治の面では遅れていたと肌感覚としてあるが、今がまさにスタートの時なのではないか。今後、女性のより一層の活躍が期待されており、政治においては特にこれからだと思う。

委員	<p>会社の方はどうなのか。商工会議所女性会での取り組みは、難しい面があるかと思うが頑張っていたきたい。</p>
委員	<p>女性会は基本的に女性経営者の団体の集まりだが、なかなか女性経営者は増えなくて、経営者の妻や姉妹にも女性会に加入いただいている。女性で起業される方も増えてきているが、他団体に入っている。少しずつ増えていると思うが、女性会で取り組んで増やしていこうという感じではない。</p>
副会長	<p>チャンスがあった時に少し尻込みをしてしまう女性が一定数はいると思う。行政や政治の中でも、今、女性は求められていると思うが、女性自身の「私は無理」ということがあるので、折角のチャンスに一步踏み出す勇気を女性も持ったら良いと思う。</p> <p>富山市の取り組みは多彩であり、医療の業界に関連することがたくさんある。毎年様々な取り組みが進んでおり、非常にありがたい。</p> <p>富山市の女性は本当に働き過ぎではないだろうか。女性がたくさん働かなければ、家の中のことが回らないような状況は、男性も恐らく働き過ぎである。40年前と比べると、男性がお子さんを病院に連れてくるのが断然に増え、(症状や家での様子など)家の中のことをよく分かっている方も増えている。意識は確実に変わってきており、主体性を持って関われる人が増えているが、やはり若い男性は本当に忙しい人が多い。今後期待することとして、働き方改革で、少し時間が出来たら、自分の生活を楽しんで欲しいと思う。そして生活の中で自分が主体性を持って関わる時間を増やしていただければ良い。一方で、経済的になかなか難しいため結婚する率も下がっていると聞いているので、その辺は政治の中で何とかしてもらえないかと思う。</p>
委員	<p>22 ページの事業番号 4「男女平等意識を育む啓発冊子の発行」について、市内全部の小学校に配り、また先生方にも指導をされているとのことであった。中学生向けの事業はどうかと思ったところ、52 ページの事業番号 192 に県が発行しているリーフレットを使って「デート DV に関する研修への参加促進」とある。この事業内容は、「教員の参加を促し」となっているが、実施状況を見ると、「学校の先生が指導を行う」となっている。何か先生たちに対してのレクチャーはしないのか。県のこども未来課が講師になって指導してもらいなどがあれば良いと思う。先日、法務局、人権擁護委員連合会の関係で、愛知、岐阜、三重、石川、福井、富山と男女共同参画局の委員の代表者の方と Web 会議をした。全国の流れとして、デート DV や性暴力について、小学生には難しい面もあるかとは思いますが、若年の世代から意識を持ち、望まない妊娠などを防ぐような意識付けをしていくことが大切だという話であった。中学生にも細かいところまでしっかり周知して欲しい。またデート DV は今、小学生でも多いという話もあるので、先生方にしっかり意識付けをしてもらうことをお</p>

	<p>願いたい。</p> <p>52 ページの事業番号 188 番「DV 防止啓発講座の開催」について、大学生対象となっている。大学生に対しても、デートDVも含めたもので何かをして欲しいと思っていた。そういった点で、具体的なことはあるか。大学生の募集をかけたのか。</p>
事務局	<p>毎年、富山国際大学子ども育成学部と連携し、国際大学の学生に対して、デートDVも含めたDV防止啓発講座を授業の一環として開催している。今年もその予定で調整している。</p>
委員	<p>他の大学などに呼びかけなどしている訳ではないのか。</p>
事務局	<p>富山大学では、キャリアデザインに関する講座を授業の一環として開催している。富山大学ダイバーシティ推進センターが窓口となっているので、そういったお話があれば、一緒に考えていきたい。</p>
委員	<p>令和5年度では、小・中学校教職員やPTAに講座を開催とあるが、具体的に何かあるか。</p>
事務局	<p>「DV防止啓発講座の開催について」というちらしを配布している。開催したいというご相談があれば、調整させていただく。</p>
委員	<p>学校に出向いて話をするということか。</p>
事務局	<p>DVに関する専門の講師を派遣し、学校など会場に出向いて、講座を開催することになる。</p>
委員	<p>DVについて、若い年齢の方々から意識を持ってもらうことが大事であることは、認識されていると思う。きめ細かいケアをぜひ願いたい。</p>
会長	<p>高岡市ではNPOが、市内の中学校で啓発活動を行っている。また小学生用のDVのパンフレットを作成して配布しているところもある。その辺りを参考にすればどうだろう。</p>
委員	<p>確かに大学生になる前に、小さい頃からDVの意識を持たせることは重要だと思う。「自分らしく生きる」の啓発冊子の新しいバージョンを作る際に、お互いをリスペクトする内容も入れたら良い。</p>
会長	<p>事務局から質問はないか。</p>
事務局	<p>DVの話があったが、相談を受ける側において、相談員の人員確保や資質の向上などに特に苦慮している。何かこんな方法があるということがあれば、ご教示いただきたい。</p>
委員	<p>DVに関して小さい頃からきめ細やかに指導していただいていることは本当に助かる。大人になり、これがDVだと気付くまでに時間がかかるのは、小さ</p>

	<p>い頃から、そのような教育がなされてこなかったからだろうと思う。</p> <p>相談員の資質の向上について、富山県女性相談センターには4名の女性相談員のほか、所長や所長代理などがある。日々、ケース検討を行いながら、お互いの持っている知識を深め合っていくことで資質向上は出来ると思う。経験年数が長く、色々な手法を持っている人から、経験年数の少ない人へ教えることが一番大事である。令和6年4月から、「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」が施行されるが、そこにも、「職員の資質向上のために努めること」という記載がある。</p> <p>今年度、DV支援者セミナーを、県こども未来課から富山県女性相談センターに担当を移して受け持つことになった。応用セミナーを10月27日に開催するので、ぜひ利用していただきたい。今回は弁護士の方に離婚や親権についての専門的なお話などをいただき、相談員に知っておいていただきたい基礎知識などを学んでもらう。セミナーに参加することも資質向上の方法の一つかと思う。また、相談員が1人だと絶対に行き詰まることがあると思う。相談員が相談出来る体制があれば、お互いに高め合っていくことが出来るし、DV被害者の話は重たい事情を聞くことが多く、1人で抱えるには辛いことが多い。それを相談したり、スーパーバイズ出来れば一番良いが、そこまでいかなくとも、お互いに持っている知恵を出し合っって高め合っていくことと長く相談員を続けていただける体制づくりが大事である。頻繁に相談員が変わると、知識や技術が継承されない。全国的にも相談員が一気に辞めてしまい、相談がなかなか受けられなくなった地域もあると聞いている。相談員のメンタルヘルスのケアや、長く続けられるための配慮が大事であると思う。</p>
会長	確かに1人は厳しいと思う。予算的にも大変かと思うが、お願いしたい。

※発言を一部整理してあります。